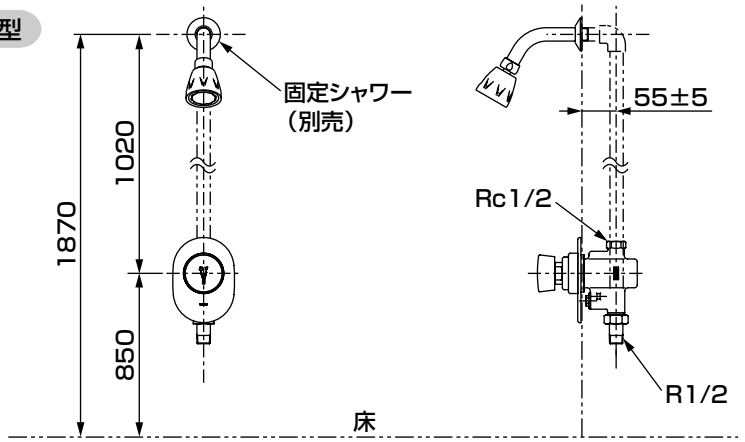
3 完成図

固定シャワーやハンドシャワーとセットすると便利です。

TBF19型

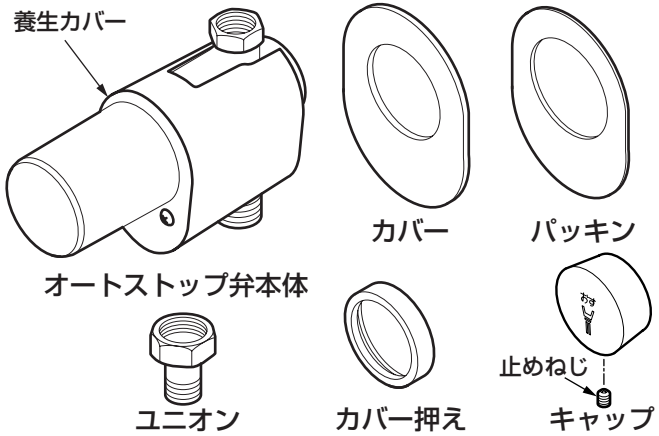


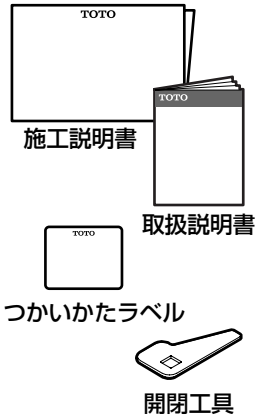
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

本体部	その他



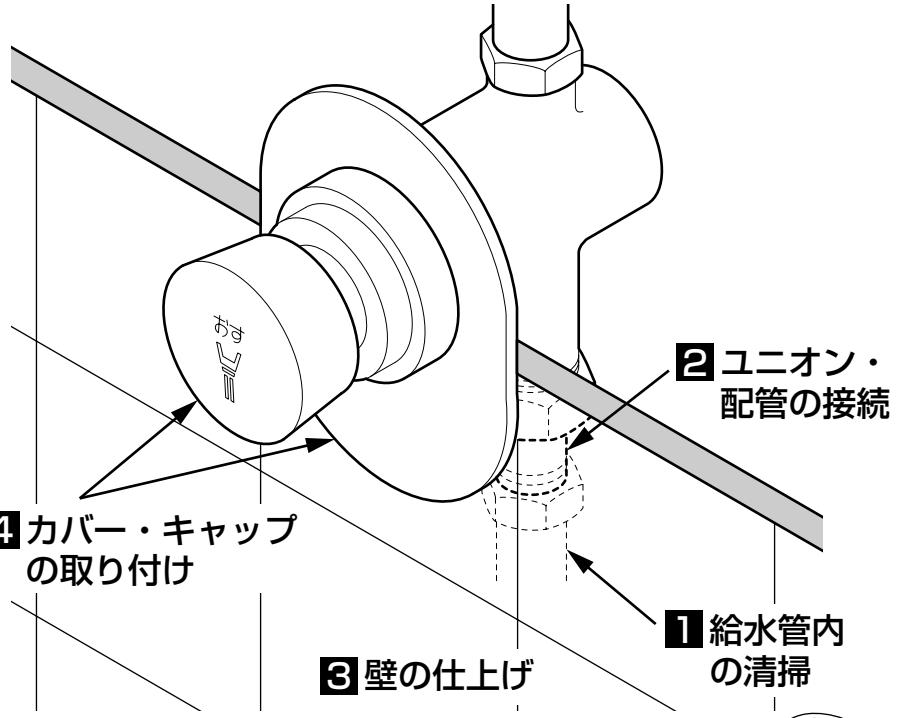


※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

5 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
  快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

6-1 施工手順



1 給水管内の清掃

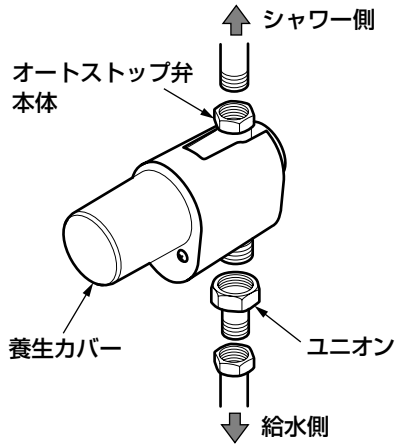
取り付ける前に **必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

2 ユニオン・配管の接続

①接続箇所に配管用シール材を使用してユニオンを接続し、配管を接続する。

②埋込配管部に通水して器具接続部分の水漏れの有無、器具のガタツキの有無を点検する。



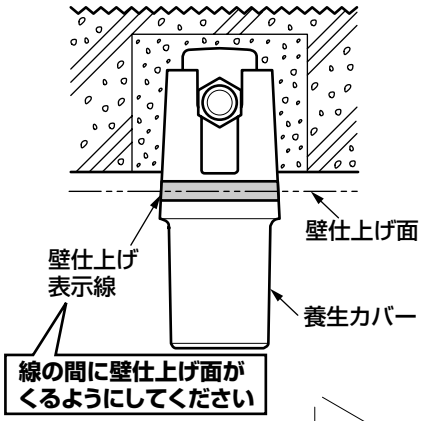
3 壁の仕上げ

①養生カバーに記入してある仕上げ表示線の範囲で壁を仕上げる。

注 意

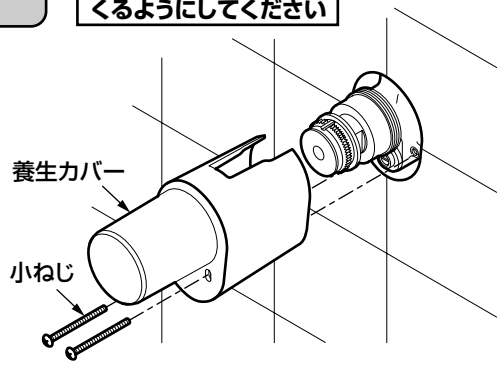
●養生カバーの中にモルタルが入らないように注意してください。

●この範囲を超えるとカバーなどの正常な取り付けができませんので、壁仕上げについては十分に打合わせておいてください。



②養生カバーを取り外す。

※小ねじを外し、養生カバーを左右にゆすりながら引き抜いてください。



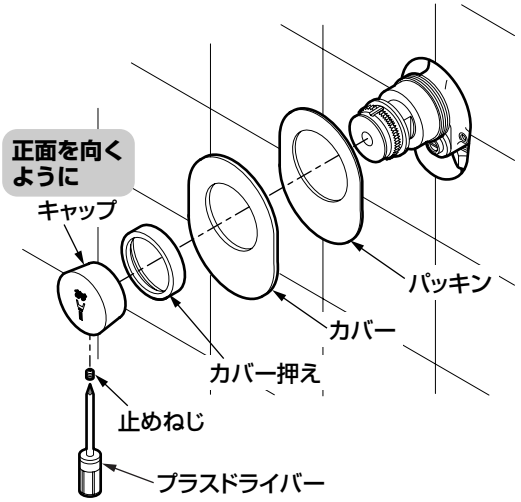
4 カバー・キャップの取り付け

「7 施工後の調節」を行ったあと、カバー・キャップを取り付けると、施工がスムーズに行えます。

①カバーの内側にパッキンを入れてはめ込み、カバー押えで締め込み固定する。

注 意

タイル壁の場合は、目地とカバーの間から水が入り込まないように、目地の凹みを埋めてカバー押えを十分に締め付けてください。



②キャップを取り付け、止めねじで固定する。

注 意

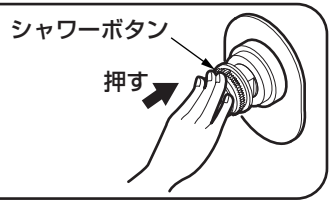
●キャップのマークが正面を向くようにはめ込んでください。

●止めねじはゆるまないよう十分に締め付けてください。

7 施工後の調節

1.水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、
シャワーから水が出るか確認してください。

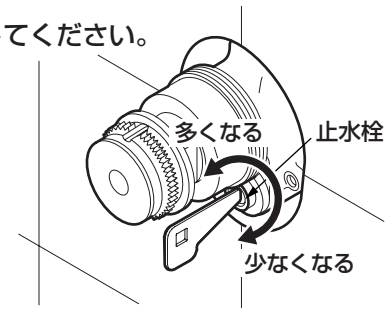


2.流量の調節

流量が多すぎる場合は、**止水栓** で流量を調節してください。

止水栓の流量調節ねじを回す。

時計回りに回すと流量が少なくなり、
反時計回りに回すと多くなります。
20秒程度で洗面器(容量 約3L)が一杯
になるように調節してください。

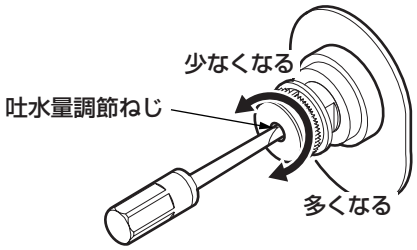


※上記の流量調節を行ってもお好みの吐水量が得られない場合は、
3．1回分の吐水量の調節 を行ってください。

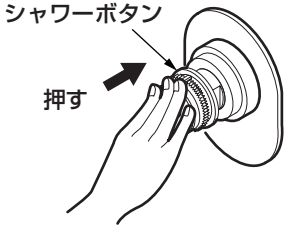
3．1回分の吐水量の調節

1．ドライバーを差し込み、吐水量
調節ねじを回す。

時計回りに回すと吐水量が多くなり、
反時計回りに回すと少なくなります。
(一回転で約5秒の調節ができます。)
(25秒程度が目安です。)

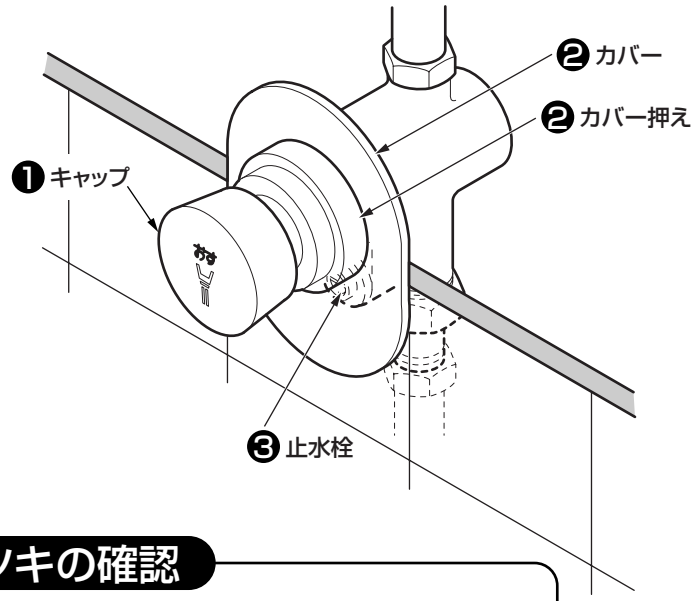


2．シャワーボタンを一度押して
吐水量を確認する。



8 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

❶キャップはしっかり固定されていますか？

❷カバー押えのゆるみはないですか？

↳ 6-2 ー 4「カバー・キャップの取り付け」参照

流量の確認

流量が少ないときは、次の項目を確認してください。

❸止水栓は開いていますか?

↳ 7 2.流量の調節 参照

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。